

衆議院東日本大震災復興特別委員会ニュース

平成 29. 4. 28 第 193 回国会第 8 号

4 月 28 日（金）、第 8 回の委員会が開かれました。

1 東日本大震災復興の総合的対策に関する件

- ・吉野復興大臣、細田農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

勝 沼 栄 明君（自民）

- ・福島選出であり自らも被災した吉野復興大臣が、所信で述べた復興の司令塔として被災地に寄り添うということの真の意味と復興に向けての覚悟と決意を、大臣自身の言葉で伺いたい。

岡 本 三 成君（公明）

- ・福島の風評被害対策を進めるに当たり、原子力災害からの福島復興交付金により福島県が造成した基金に対するさらなる支援や、県内の学校給食における県産食材の活用といった具体的な検討が必要と考えるが、政府の見解を伺いたい。

階 猛君（民進）

- ・農水省OBによる復興事業談合事件に関し、現在の調査状況及びゼネコンだけでなく地元業者が入札に参加できるよう参加要件を見直す必要性について、農林水産省に伺いたい。
- ・被災事業者の資金調達に当たり、事業承継時における債務保証契約を引き継がせないこととする金融機関に対する優遇措置等を検討する必要性について、経済産業省に伺いたい。

金 子 恵 美君（民進）

- ・昨日の当委員会における所信表明で「原発事故」の文言が使われなかった理由について、復興大臣に伺いたい。

小 熊 慎 司君（民進）

- ・福島第二原発の廃炉を進めるための立法措置を検討する必要性について、復興大臣の見解を伺いたい。

- ・東京電力が、第二原発は第一原発のバックアップ機能を果たしていると説明していることに関し、政府は東電に対しより具体的な説明を求めるべきと考えるが、復興大臣の見解を伺いたい。

落 合 貴 之君（民進）

- ・平成 29 年 3 月 11 日の東日本大震災 6 周年追悼式の式辞で総理は「原発事故」への言及がなかったが、福島選出である大臣は、総理の立場とは別途原発事故のメッセージを発信し続けるべきであり、これについて復興大臣としての所見を伺いたい。
- ・昨日の当委員会における大臣所信表明において原発事故避難者のいじめに対する言及がなかったが、この問題に対する復興大臣の認識を伺いたい。

高 橋 千 鶴子君（共産）

- ・福島第二原発の廃炉は、政府が法的措置を講じ進めていくべきと考えるが、復興大臣の見解を伺いたい。
- ・福島県における「応急仮設住宅供与終了に向けた避難者の住まいの確保状況」についての調査では、98.8%の避難者が 4 月以降の住まいを確保できたとしているが、追跡調査を行う必要性に対する復興大臣の見解を伺いたい。

木 下 智 彦君（維新）

- ・今後の復興の在り方について、従来どおりの施策でよいのかあるいは新たな施策が必要と考えるか、また、復興庁を被災地に設置してはどうか、復興大臣の見解を伺いたい。
- ・被災者が帰還した後に起こり得る様々な紛争、問題等に対応するため「東日本大震災被災者援助のための司法支援センター（法テラス）業務特例法」の延長（現行では平成 30 年 3 月 31 日まで）を検討する必要性について、復興大臣の見解を伺いたい。